

Vol.41  
2020

八ヶ岳と南アルプスに抱かれたまち  
信州富士見町

# Poan

ポアン



## 【特集】 ふじみのパワースポット

- 縄文ロマンにときめく ● ころろ彩る花の眺望
- 高原野菜でリフレッシュ ● 森と清流に癒される
- 彩りの秋と銀世界の冬

【photo】 富士見の四季彩



富士見町ぐるりと見渡せば、全て絶景！

八ヶ岳 南アルプス 富士山



けの旅はもうつまらない」と思ったら、  
 新鮮な感動を求めて「ふじみのパワ  
 スポットを巡る旅」はいかが。縄文の里  
 で古代の息吹を感じたり、緑の森で森  
 林浴を楽しんだり、雄大な山々と可  
 憐に咲く花に心癒されたり……。時  
 はフレッシュな高原野菜をモリモリ食  
 べるのも、ウインタースポーツをダイナ  
 ミックに楽しむのも、みんなパワーのも  
 と。今回は「ここに行けば絶対元気な  
 なる！」と自信を持っておすすめする  
 とっておきのパワースポットをご紹介します。

豊かな自然の恵みと縄文ワールド  
 の不思議がいっぱいの富士見。「観光だ  
 疲れた心を癒して元気になれる  
 パワースポットをめぐる旅





富士見パノラマリゾートより望む八ヶ岳

近隣の縄文スポットも訪ねてみよう!

- 茅野市尖石縄文考古館  
国宝の土偶「縄文のビーナス」「仮面の女神」が有名。
- 八ヶ岳美術館  
(原村歴史民俗資料館)  
「顔面装飾付釣手土器」をはじめ原村出土の縄文土器を展示。
- 北杜市考古資料館  
「中空土偶」など、豊かな造形の縄文土器を多数展示。

八ヶ岳南麓は、縄文時代中期、日本列島を代表する文化が花開き「縄文王国」と称されるほどの活況を呈していたという。人々はなぜこの地に集まったのか。いくつか説はあるが、石器の材料となる黒曜石が近くで採れたからという説も根強い。信州産の黒曜石は縄文人のブランド品だったらしく、北海道の遺跡からも発見されている。交通手段がない時代、どのようにして運ばれていたのか。ここにも古代のロマンを感じてい

縄文文化が栄えた八ヶ岳山麓



始祖女神像  
(板上市跡の土偶/重要文化財)

**CHECK!** 井戸尻考古館ではオリジナル縄文グッズも扱っています。

始祖女神像箸置き



● 井戸尻考古館  
富士見町境 7053 ☎0266-64-2044  
<http://userweb.alles.or.jp/fujimi/idojiri.html>

魂をゆさぶる「縄文アート」に出会う

複雑でダイナミックな模様が特徴の縄文土器。機能性を犠牲にしてまで彼等が表現したかったのは、この文様がなければならない精神性であるらしい。器を飾るのは脱皮や冬眠の習性から、再生する命や不死を象徴するヘビやカエル。新しい命を産み出す女神。井戸尻考古館で縄文の世界に触れよう。



縄文アートを堪能したら、古代ハスなどの水生植物が咲く井戸尻史跡公園をのんびり散歩してみよう。



神像筒型土器  
(藤内遺跡第32号住居址)  
国重要文化財



縄文ロマンにときめく



井戸尻史跡公園

星降る中部高地の縄文世界  
「縄文の里 ふじみ」

日本遺産に認定された「星降る中部高地の縄文世界」。八ヶ岳山麓には縄文文化を探る上で重要な箇所があり、その一つが井戸尻遺跡群とされている。未だ謎に包まれた縄文世界への扉を開くなら、井戸尻考古館を訪ねるのがいい。館内には土偶、土器、石器等が展示され、出土品からは、縄文時代にすでに農耕が行われていたこともわかっていられる。土器が物語るのはそれだけではなく、あの複雑な造形は、縄文の人たちの世界観、宗教観、当時すでに語り伝えられていた神話的な世界を表現しているのだという。そして、その神話王国の中心ともいえるのが富士見なのだとか。縄文人のパワーを感じる「縄文の里 富士見」。山々を望む遺跡に立てば、古代ロマンに心がときめく。



水煙渦巻文深鉢  
(曾根遺跡第4号住居址/長野県宝)

**CHECK!**

富士見パノラマリゾート  
「ナイト Gondola」  
「星空観察会」

富士見町富士見 6666-703 ☎0266-62-5666  
<http://fujimiranorama.com/>

悠久の時に想いをはせる… 八ヶ岳の星空

標高が高く、空気が澄んだ富士見は、人工的な光も少なく、手が届きそうなほど近くに星が輝いて見える。夏の夜空を流れる天の川。冬の夜空を彩るオリオン座。高原に立ち、縄文人が見ていたはずの星空を眺めれば、悠久の時を越え、心は遥か昔に旅立っていく気がする。

**CHECK!**

富士見高原リゾート  
「星空のナイトカート」

富士見町境 12067 ☎0266-66-2121  
<http://fujimikogen-resort.jp/>

※開催日・時間についてはHPを御覧ください。

※開催日・時間についてはHPを御覧ください。



ドイツすずらんとハケ岳 [富士見パノラマリゾート ゴンドラ山頂駅付近]

**季節の訪れを告げる花々**  
 4月、富士見に花の季節が訪れる。一斉に花開くダンコウバイ、梅、コブシ…。春の盛りを彩るしだれ桜。梅雨の頃にはすずらんの薫りが湿原を包み、太陽が眩しく輝くと夏の花々の競演が始まる。花々が次々に咲き変わって一面を鮮やかに染めあげる「入笠湿原」。カラフルな色彩が夏を謳歌する「花の里」。やがて高原に秋風が立つと、山裾にひっそりと白いそばの花が咲き、華やかな花の季節に終わりを告げる。

**様々なエリアで花の表情を楽しむ**

花のテーマパーク「花の里」は、百日草が斜面を埋めるロマンスエリア、白樺林と花々が幻想的な雰囲気の中、ワイルドフラワーが咲き誇る展望エリアと3つのエリアを中心に、季節と標高で咲き変わる美しい花々の競演が堪能できる。



展望ロックガーデン

●富士見高原リゾート 花の里  
 富士見町 12067  
 ☎0266-66-2121  
<http://fujimikogen-resort.jp/>



百日草と南アルプス【花の里 ロマンスエリア】



そばの花と富士山【葛窪】



そばの花とハケ岳【乙事】

夏の終わりを告げるそばの花。ハケ岳や富士山を背景に咲く白い花は幻想的。

**ひと足のばして絶景を楽しもう**

●入笠山

山頂は360度の大パノラマが広がる。入笠湿原の先が登山口。



●創造の森

日本三大高峰が見渡せる。花の里から自動運転のカートでアクセスできる。



**こころ彩る 花と山の眺望**

水を張ったばかりの田んぼに、甲斐駒ヶ岳とともに姿を映す田端森新田県桜



田端しだれ桜  
 富士見町には樹齢200年を超えるしだれ桜が4つあり、名峰とのコントラストも見事。それぞれ違った趣きを見せてくれる。

**雄大な山々の眺望と 可憐に咲く花のハーモニー**

はるか山々を望む富士見町。間近に迫るハケ岳、南アルプス・甲斐駒ヶ岳、そして遠くには優美に裾をひく富士山。時に雄々しく、時に気高く姿を変え、山々は、季節を彩る花々と一体となって美しい景色を見せてくれる。春、残雪に輝く山と春の光にとけ入りそうなしだれ桜の美しい競演。夏、緑の稜線と高原に咲き乱れる花々の鮮やかなコントラスト。山々の眺望と可憐に咲く花のハーモニーは、富士見ならではの花景色だ。時間と共に変わっていく山と花の景色を心ゆくまで味わいながら、ゆったりと時間が流れる花巡りの旅を楽しめば、花たちの持つやさしさのパワーに心が癒され、いつもよりもっとやさしい気持ちになっっていくのを感じる。

**ACCESS**  
 ●富士見パノラマリゾート  
 富士見町富士見 6666-703  
 TEL.0266-62-5666  
<http://fujimipanorama.com/>

**蒼熊ホテイアツモリソウ**  
 絶滅危惧1A類に区分されている希少種

**日本すずらん**  
 100万株の群生があり、開花時期は甘い香りに包まれる

ツルシロバナ  
 ヨシノボリ  
 マツルソコ  
 シロツバメ

**お花見トレッキング 入笠山の山野草**

ゴンドラリフト山頂駅から10分ほどの入笠湿原、そこからさらに10分ほどの入笠花畑は天空の花園。色鮮やかな花々が次々に咲き競い、6月には100万本の日本すずらんが甘い香りを漂わせる。湿原には遊歩道が整備され、花を眺めながらトレッキングを楽しむのも魅力。少し足を伸ばせば、入笠山山頂の大パノラマにも出会える。





高原野菜メニューのイメージ

「高原野菜グルメサミット」で旬の高原野菜メニューを味わう

富士見高原で丹精込めて野菜を育てる生産者と、その新鮮なおいしさに惚れ込んだ料理人たちがコラボレーションした「高原野菜グルメサミット」。レストランやベーカリー、洋菓子店などが工夫を重ねて開発したメニューは、高原野菜をたっぷり使ったオリジナリティあふれる料理ばかりで、食べるだけで心も体も元気になれるそう。この夏は、富士見の「高原野菜グルメサミット」で、旬の贅沢を存分に味わおう。開催期間 6月～9月



# 高原野菜でリフレッシュ

## カゴメがつくる、体験型「野菜のテーマパーク」

「カゴメ野菜生活ファーム富士見」のコンセプトは、「農業・工業・観光」が一体化した体験型「野菜のテーマパーク」。迫力の映像や展示で「カゴメのこだわり」を体験できる工場見学施設「ファクトリー&ミュージアム」、菜園から収穫した野菜で、料理・スイーツ作りなどを体験する「体験教室」、野菜を“美味しく、楽しむ”イタリアンレストラン、採れたて野菜や特産品が揃ったファームショップなど、様々な施設が揃っている。工場見学や体験教室などは、事前の予約が必要。



ファームハウスの別棟にある「トマトの樹」は1粒の種から1万個の実をつける



●カゴメ野菜生活ファーム富士見  
富士見町富士見 9275-1 ☎0266-78-3935  
<http://www.kagome.co.jp/yfarm>  
営業期間：4月～11月 定休日：火曜日



レストランでは旬の野菜を使ったメニューを味わえる



II FAGGIO イル・ファジジョ(レストラン)



**CHECK!**  
ファームショップにあるショップ限定のオリジナル商品は、お土産にもオススメ。



ファームショップ

### 富士見町の特産野菜を味わおう!

#### ●真っ赤なルバーブ

健康食品としても注目される富士見町のルバーブは、真っ赤な色特徴で、加工品もバラエティ豊か。食べごろは6月～10月。

収穫体験できます 富士見町ルバーブ生産組合 ☎090-2336-2705



#### ●食用ほおずき

八ヶ岳山麓で栽培されている食用ほおずきは、トロピカルな味わいが特徴。食べごろは9月～10月。

収穫体験できます パディアス農園 ☎090-7272-1782



八ヶ岳山麓は高原野菜がすくすく育つパワースポット

みずみずしくて色鮮やかで、料理を作る人も食べる人も元気にしてくれる高原野菜。そのおいしさの秘密は富士見の豊かな自然。高冷地独特の昼夜の寒暖差や、霧などによる湿気、日照時間の長さ、清らかな水。そうしたすべてがパワーの元になり、野菜の甘さ、柔らかさ、シャキッとした歯ざわり、鮮やかな色つやなど、格別な味わいが生まれてくる。富士見の高原野菜の旬は6月から10月。パワースポットで育った高原野菜をモリモリ食べて、パワーをもらおう。



**CHECK!**

あくりモールふじみ  
A・コープファーマーズ  
富士見店  
富士見町落合 9984-1025  
☎0266-62-2090



**CHECK!**

道の駅 信州蔦木宿  
富士見町落合 1984-1  
☎0266-61-8222

### 新鮮な野菜や加工品もいっぱい 野菜直売所

新鮮な野菜は、それだけで料理を美味しくしてくれる。富士見で採れたて高原野菜を手に入れるなら、フレッシュな野菜や果物、それに加工品までいっぱい揃った野菜直売所へ足を運ぼう。道の駅信州蔦木宿やA・コープファーマーズは丹精込めて育てた生産者の顔まで見えて安心。



# 森と清流に癒される



稗の底東出口

## 森林浴をしながら水辺でくつろぐ癒しの時間

森にはゆらぎという独特なリズムが流れていて、リラククス効果があるのだという。稗の底古村址は、昔人々の暮らしたが営まれていた場所。この村が廃村となった理由は今でも謎に包まれているけれど、300年の時の流れが古村址を緑豊かな森に変えた。木々のさやぎや鳥の音が耳に心地よい森の中には湧水地があり、こんこんと湧き出す清らかな水が、糸のように流れ落ちる小滝や小さな泉を作っている。散策の足を止めて水辺にくつろげば、森の匂いと水の音が心癒されていく。

静けさに包まれた森にある八ヶ岳の湧水「稗の底東出口」。人が通り抜けられそうな大きな穴が空いた巨木が印象的。かつて「稗の底」という村があった場所で、西出口湧水も近くにある。



## 山岳修験霊場の名残を残すパワースポット「不動清水」

八ヶ岳は山岳信仰の山としても知られ、江戸時代には多くの修験者がいたという。信仰にまつわる伝説はいくつも残されていて、富士見からの登山道にある湧水は、不動明王を祀ったところ清水が湧き出したことから、「不動清水」と名付けられたと伝えられている。岩陰には不動明王が刻まれた石碑、モミの木の下には小さなお地蔵様。山岳修験霊場の名残を残す「不動清水」は、まさに富士見最強のパワースポット！



西岳(八ヶ岳)の登山道にある湧水「不動清水」。周囲の森には多くの石碑や石仏がひっそりと佇んでいる。

### 近隣エリアの南アルプス・八ヶ岳の湧水も訪ねてみよう！

- 首切清水  
入笠林道の脇にある湧水。八ヶ岳ビューポイントがほど近くにあり、散策がてら立ち寄れる。
- 三分一湧水  
北杜市大泉町にある湧水。「日本名水百選」に指定されており、3つに分岐して流れる水が特徴。
- 大滝湧水  
北杜市小淵沢町の大滝神社境内にある湧水。こちらも「日本名水百選」に選ばれている。

## 知る人ぞ知る癒しの渓谷「テイ沢」トレッキング

大阿原湿原から流れ出た水が、自然林の中に美しい流れを作る「テイ沢」。渓流の岩をびっしりと覆った苔は、水分を含んでピロッドのように輝き、秘境と呼ばれるにふさわしい神秘的な雰囲気漂わせる。人の訪れも少ないテイ沢には、オコジョやホンドテンなども棲んでいて、運がよければ岩陰からひょっこり顔を覗かせたりするとか。いくつもの木の橋を渡り、きれいな空気をいっぱい吸いながら歩くテイ沢トレッキングは、癒やし旅という言葉がぴったり。



テイ沢へと続く大阿原湿原の木道  
沢にかかるシンプルな橋が特徴的



テイ沢

**CHECK!**  
テイ沢は岩を覆うコケのグリーンがみずみずしい。近くで観察してみよう!

## 大自然を満喫する 森のキャンプ場

富士見には充実した設備の富士見高原貸別荘や川音が耳に心地よい立場川キャンプ場・乙事キャンプ場があり、気軽にキャンプを楽しむことができる。南アルプスや八ヶ岳を望む絶好のロケーション。夜は満点の星空。森林浴も兼ねながら自然と過ごすキャンプ生活は、思い切りリフレッシュできる。



**CHECK!**  
乙事キャンプ場  
(町民広場キャンプ場)  
富士見町乙事 1000  
☎0266-62-5506

**CHECK!**  
富士見高原貸別荘  
ドッグラン・  
キャンプサイト  
富士見町立沢 1-1733  
☎0266-66-2133

**CHECK!**  
立場川キャンプ場  
富士見町立沢 1-6  
☎0266-62-9342  
(富士見町産業課)  
☎0266-66-2133  
(富士見高原貸別荘)



雪の朝(創造の森)

寒さの中でキラキフと輝きを増す冬景色  
凛とした空気が張り詰める冬は、富士山が一段と美しく見える。関東の富士見百景のビューポイントから眺める雪をいただいた富士は、気高く美しく神の山と呼ばれるにふさわしい。冬は自然が創り出す芸術を目にする季節でもある。田んぼに白い亀甲型を作る霜柱、凍れる森の霧氷、氷が刻んだ彫刻一枚の水墨画のような釜無川渓谷、すべてが自然からの贈り物だ。しんとした静寂の中で、冬景色はキラキラと輝いている。

関東の富士見百景ポイント～空気が澄む冬は富士山の眺望を楽しむのもオススメ！～



●創造の森

彫像ごしに見る富士山の眺望が素晴らしい。



●葛窪中央道トンネル

中央道と富士山のコントラストが絶妙。



●立沢大規模水田地帯

のどかな水田地帯から見る富士は懐かしい趣き。



入笠山頂

冬の眺望をひとりじめ  
入笠山スノートレッキング

冬の自然の楽しさや雪のフィールドの美しさを存分に味わえると人気のスノートレッキング。スノーシュー等のレンタルも充実しているし、ゴンドラリフトを使って1時間半あまりで山頂に着けるから、誰でも気軽に挑戦できる。冬の野は静寂につつまれ、パウダースノーを踏みしめる音も空気の中に吸い込まれそう。見渡す限りの銀世界、絵本のような森、小さな動物たちの足跡。子どもみたいに弾んだ気分で山頂に着けば、そこには360度のパノラマが広がっている。



CHECK!

富士見高原リゾート

富士見町 12067  
☎0266-66-2932

『冬のユニバーサルフィールド』ハンディキャップのある方もみんなと一緒に楽しめるスキーリゾートを目指しています!!



CHECK!

富士見パノラマリゾート

富士見町富士見 6666-703  
☎0266-62-5666



秋の彩りと冬のきらめき



富士見パノラマリゾートでは秋限定で雲海ゴンドラが運行される



ハケ岳エリアの紅葉

カラマツのなかにモミジやイチョウ・白樺が加わった鮮やかな色合いが特徴。富士見高原を散策しながら紅葉を楽しみたい。



入笠山エリアの黄葉

黄金色のカラマツが特徴的。富士見パノラマリゾートのゴンドラから眺めると大迫力の黄葉と眺望を同時に楽しめる。

季節のダイナミックな変化を  
大自然の彩りで感じる秋  
富士見には四季折々の変化に富んだ美しい自然がある。10月の半ばから始まる紅葉が見せてくれるのはダイナミックな季節の移行のドラマ。青い空と金色のカラマツの鮮やかなコントラスト、山頂・中腹・山麓と色が変わるハケ岳の三段紅葉。秋の陽に照り映える紅葉は、時間とともに徐々に表情を変える。素晴らしい雲海が見られるのもこの季節の楽しみ。ゴンドラを降りれば、そこには雲の波が一面に続く奇跡のような絶景が広がっている。神様の存在を感じる神秘的なひと時。

冬を満喫できる スノーリゾート

富士見の2つのスキー場は、中央道からのアクセスもらくらく。晴天率85%。透明感のある清々しい空気。青い空と白い雪の美しいコントラスト。富士見なら、スキーもスノーボードもスノートレッキングも思いのままに楽しめる。雄大な山々を見渡す最高のロケーションの中で、冬を満喫しよう。



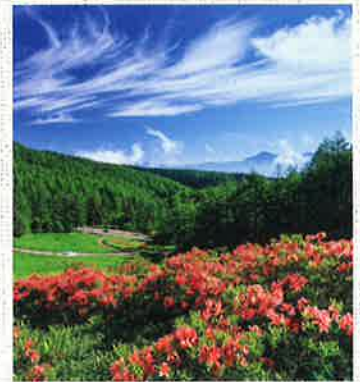


# 富士見の四季彩

富士見町の自然を追い続ける写真家、玉置弘文さんの作品とともに、四季の彩を探る旅に出かけましょう。



①(井戸尻史跡公園)(2019.3.5 AM9:15)  
早春の温もりを感じさせてくれる紅梅。穏やかな日差しにダウンジャケットを脱いだ。



⑤(入笠山登山道・お花畑)(2019.6.26 AM7:35)  
下界より新緑が遅い入笠山登山道のお花畑。花の季節になると取材通いも頻繁になる。



②(上高木・三光寺)(2019.4.8 AM10:43)  
境内で際立って紅い河津桜を発見。前日に昨年の取材ノートと実写ボジを見直し、当日の取材に臨んだ。



④(富士見高原・花の里)(2019.7.29 AM6:44)  
紫陽花とヘメロカリスの花に沿って続く遊歩道を陽が差し込まない早朝の時間帯を選んで撮影。木陰のベンチは何時も気分爽快。

## 春夏

美しい色彩にあふれた花の季節

凍った風が和らぐと富士見に花の季節が巡ってくる。3月、井戸尻公園に春を告げる紅梅が咲く。白雪の甲斐駒ヶ岳と鮮やかな紅梅は、早春の温もりを感じさせてくれる風景だ。富士見の桜の開花は4月も半ばを過ぎてからだが、4月に入って間もなく、三光寺境内の桜林で河津桜の美しい姿を発見した。他の桜に先駆けて咲く河津桜は際立った紅色が美しい。  
桜の季節が過ぎ、入笠山登山道の新緑がまばゆく輝くと、本格的な花の季節が始まる。入笠山のお花畑は、近年鹿の食害が減り、咲く花の種類も増えてきている。この日は、レンゲツツジと蓼科山遠望、そして風流に流れる雲という会心の一枚が撮影できた。花のスポットといえば、「富士見高原花の里」もまさに百花繚乱の風景だ。日差しが強くなりすぎる時間を避け、足しげく通うことになる。



⑤(林道入笠線・ハヶ岳ビューポイント)(2019.9.6 AM5:51)  
光と水蒸気が織りなす朝のドラマ。刻々と変わる雲海の姿に神経を集中させる。これぞ雲上の特等席。

## 秋冬

燃え立つ秋と静寂の冬

秋の初め、まだ夜の明けきらぬうちに林道入笠線に向かう。そこで目にしたのは、雲海が織りなす朝のドラマ。この絶景が楽しめる贅沢を存分に味わった。紅葉は年によって色づき方が違う。昨年の紅葉は今一つだったが、その中で出合ったのがこの楓。野外芸術作品のようで撮影に熱が入った。空が澄みわたる冬、風景写真から一歩抜け出した写真撮ろうと創造の森に出かけ、太陽を光跡と

して表現する作品の撮影に臨んだ。こうした写真は冷静さと集中力が必要だと改めて実感する。木々がすっかり葉を落とすと、全く異なった風景が広がる。入笠林道には、風雪に耐えた木々の合間から、真っ青な空に浮かび上がるように八ヶ岳連峰がくっきりと聳え立っていた。季節ごとの美しい景観が広がる富士見。ぜひ多くの人に体感してほしいと思う。



⑥(立沢・ヨドバシカメラ富士見高原研修センター)(2019.11.15 AM9:22)  
紅葉の色づきが今ひとつだった中、ひときわ存在感を見せた楓。このような構図は初めてだったので、熱が入った。



⑦(富士見高原・創造の森)(2018.12.31 第1EXP・夜景PM5:42~)(2019.1.1 第2EXP・朝焼AM6:24~)(2019.1.1 第3EXP・光跡AM7:03~11:05)  
時間をテーマとして不可視の世界と太陽を光跡として表現した作品。



⑧(林道入笠線)(2018.12.17 AM9:50)  
入笠山林道の深い森の合間から見えた白銀のハヶ岳連峰。すぐにカメラを三脚にセットしてポイント探しを始めた。

### Photographer

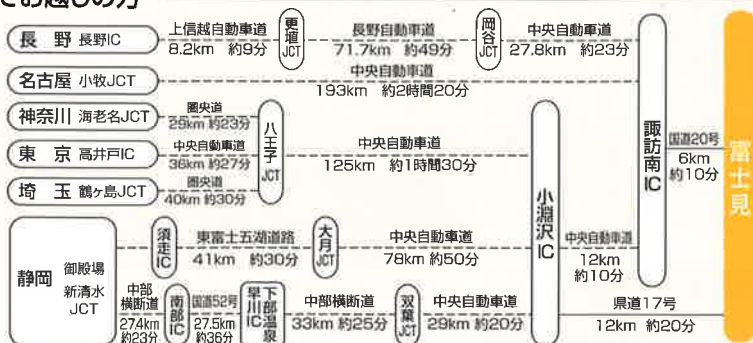
PROFILE -----  
東京都出身 / 「写真は文字のない言葉、自分の感性を大切に、写真で富士見を表現できたら」と語る東京都出身の風景写真家。小さい頃に遊んだ田んぼや畑、小川などの風景が富士見と重なり、現在、富士見町に住んで撮影を続けている。

撮影 風景写真家 玉置弘文  
また、新たな1年が始まった。年々体力は衰えがあるものの、創作意欲や、何かを求めたい欲求は健在で尽きない。写真活動を続けている限り「学び続けられる人生」がある。明日への目標が決まっているかが大事で、行き先のないバスには乗らない。





●お車でお越しの方



●電車でお越しの方



●周辺観光エリアまでのアクセス



富士見町産業課

〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合10777  
 TEL.0266-62-9342 FAX.0266-62-4481  
 HP◎<https://www.town.fujimi.lg.jp/life/1/>  
 E-mail◎[kankou@town.fujimi.lg.jp](mailto:kankou@town.fujimi.lg.jp)

富士見町観光協会

〒399-0211 長野県諏訪郡富士見町富士見4654-224  
 TEL.0266-62-5757 FAX.0266-62-7747  
 E-mail◎[fujimian@po13.lvc.ne.jp](mailto:fujimian@po13.lvc.ne.jp)

富士見町の  
観光情報は  
こちら!



定期読者募集



信州富士見町  
 POANに興味のある方は、便利な定期配布をご利用下さい。発刊日より1週間以内に送  
 料無料で、ご自宅に送付します。富士見町HPの登録専用フォームにて登録できます。  
 富士見町HPの定期配布会員登録フォームでお申込みください  
<https://www.town.fujimi.lg.jp/page/poan.html> **送料無料**